

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		専門課程	歯科技工士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2002 単位時間/単位	596 単位 時間/単位	単位時間 /単位	1406 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2002 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	20人	0人	3人	25人	28人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）・授業計画（シラバス）の作成は、前年度中に各非常勤教員へ見直しや作成を依頼し、最終的には専任教員が集約し完成させている。各講師から頂いた授業計画は冊子にして、新生が入学直後に配布し説明を行っている。 歯科衛生士・歯科技工士の養成に関する指定規則をもとに、効果的な教育を行えるように、専任打合せ会、教務打合せ会、学校運営小委員会等の会議で検討し作成している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）・前期試験および後期試験を実施し、100点満点の60点以上が合格で、合格者には単位を与えている。本試験不合格者には、再試験を実施し再試験も100点満点の60点以上が合格である。 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する方法を用いて、客観的な指標として設定している。前期および後期試験を2回実施しており、いずれも同様の方法を用いている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）・1月中旬頃に、非常勤教員を集めての教員会を開催し、成績や授業態度等について意見を貰い、最終的な卒業・進級の判定は校長が行う。</p>
学修支援等
<p>（概要）・欠席等があった場合は、定期試験前の放課後あるいは長期休暇を利用して、補習を行っている。また国家試験前は補講等を行っている。 実技面においては、放課後を利用して実技上達の為に支援している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	1人 (7%)	11人 (79%)	2人 (14%)
<p>（主な就職、業界等） ・歯科技工所、歯科医院</p>			

(就職指導内容) ・就職オリエンテーション、進路希望調査実施と個人面談、履歴書記入から面接指導、各会社説明会への学生参加ならびに保護者の参加要請、長期休暇中の職場見学
(主な学修成果(資格・検定等)) ・歯科技工士
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本人と直接面談あるいは保護者を含め三者面談の実施		